

令和7年度第2回萩警察署協議会会議録

開催日時	令和7年10月29日（水） 午後3時30分から午後5時15分までの間	
開催場所	萩警察署3階 講堂	
出席者	委員	椋木委員、大田委員、山本委員、柳林委員、山中委員、 末若委員、矢田委員、中村委員、藤井委員 <div style="text-align: right;">計9名</div>
	警察	警務部長、署長、副署長、主幹、警務課長、生活安全課長、 地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長 <div style="text-align: right;">計10名</div>
議題	1 所管業務説明 2 「情勢に応じた合理的な交通規制の実施及び良好な自転車交通秩序実現のための取組」	
<p>1 会長挨拶</p> <p>つらかった長い夏がようやく終り、ここ最近の秋の気配を感じ大変嬉しく思う。 第1回萩警察署協議会では警察本部長が参加していただき、本日の第2回目は、お忙しいところ警務部長が参加していただいた。よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>9月21日、萩中央公園と児童館でキッズフェスタを開催し、来場者はスタッフを含めると約1,900名の参加となった。萩署の方には、パトカー展示やミニ白バイの乗車体験など、大変お世話になり感謝申し上げます。</p> <p>前回の協議会で、警察官募集の説明があったが、今回のキッズフェスタにおいて、若手警察官がボランティアで参加してくれた高校生・大学生に、警察職員採用募集のパンフレットを交付した。若手警察官は、学生にいろいろな話をしながら交付していたようであり、パンフレットを受け取った学生に後ほど話を聞いたところ、「警察官の話が聞けて良かった」というコメントを残してくれた。このような大きなイベントでは、パトカー等の乗車体験のほかに、若手警察官が学生に直接パンフレットを手渡ししながら説明するのも警察官募集の一つの手だと感じた。</p> <p>本日は、交通関係の諮問事項である。どうぞよろしくお願ひする。</p> <p>2 副会長挨拶</p> <p>新たに、副会長に指名された。萩警察署協議会委員は3期目で、残り2年となった。会長を支えていきたいと思っている。どうぞよろしくお願ひする。</p>		

3 署長挨拶

(省略)

4 警察本部警務部長挨拶

(省略)

5 所管業務説明(署長)

(1) 生活安全関係

- うそ電話詐欺、SNS型ロマンス詐欺被害認知状況

(2) 刑事関係

- 刑法犯認知状況

(3) 交通関係

- 交通事故発生状況

6 諮問事項説明(交通課長)

『情勢に応じた合理的な交通規制の実施及び良好な自転車交通秩序実現のための取組』をパワーポイントにより説明

7 協議・検討

(委員)

道路標識が視認しにくい場所や、路上のラインが消えている事例の説明があったが、私が居住している地域でも同じような状況であるので、県内全域でも同じではないだろうか。

私は、交通規制のうち一時停止が一番大事だと思っているが、一時停止標識の視認性が悪い場所や、路上の「止まれ」表示が消えて見えない場所が見受けられる。特に雨の日は、全く表示が見えない場所もある。

自転車の交通ルールが来年4月から大幅改正されるようだが、今の学生はヘルメットをしっかりと被っているように見受けられる。学生は来年4月から交通ルールが変わることをどれだけ認識しているか分からないが、今後、警察が指導していくと言われたので期待している。突然、法律が変わったからと言って注意を受けると、学生は戸惑うと思う。

警察は「注意する」、「指導する」だけではなく、ヘルメットをしっかりと被っている学生や、交通ルールを守っている学生に対し、「褒める」というのはどうだろうか。生徒からすると、警察から褒められることにより、交通ルールを益々守ろうという認識に変わっていく気がする。

また、警察官が自転車に乗車し、乗車方法の模範を示しながら、通学路を見回すのも良いのではないか。

(交通課長)

取締りばかりではなく、模範となる自転車運転をする学生を褒め、交通ルールを

守る学生を多く育成しながら交通秩序を守っていくことが大切だと思う。警察官が模範を示して行動するというのは、まさにそのとおりだと思うので実施に向けて検討したい。

(委員)

停止線が所々消えており、どこで停止したら良いか分からないことが多々あるので、停止線を塗り直してほしいと思う。

自転車の交通ルールに関しては、登校する際はヘルメットを被るが、遊びに行くときには格好が悪いと感じるのか被らない学生が多いように思う。

(委員)

交通住民説明会についての説明があったが、この説明会は住民からの要望で開催されるのか。

車を運転する住民からすると、信号機や一時停止があれば、煩わしいと感じ、規制は必要ないという意見が多いと思うが、警察官が確認して安全を確保するためであれば、当然規制は必要だと思う。私が住んでいる地域で、信号機のない交差点で事故が起こった後、道路改良で信号機が設置されたこともあった。利便性だけでなく、必要な場所には信号機等を設置して欲しい。

自転車のヘルメット着用について、子供は着用しているが大人は着用していないと感じる。田舎では高齢者が多く、自転車を運転する者はほとんどいないが、子供の手本となるように、大人もしっかりヘルメットを着用することが重要である。

道路上のラインについての意見が多く出たが、私は、以前ラインを引く業務をしていたので経費が掛かり簡単に引くことができないことは承知している。しかし、停止線など重大な事故につながるような場所は、経費が掛かってでも引くようにして欲しい。

(委員)

私が住んでいる地区の駐車禁止標識が木で見えないところがある。また、子供の通学路に時間規制の道路標示があるが、表示が薄くなって見えにくいところもある。

自転車の交通ルールに関しては、小学生でも遊びに行く時にヘルメットを被っていない子供がいると聞く。他の委員の提言にもあったように、警察官が交通ルールを守っている小学生を褒めるというのは大変良いことだと思う。警察官が褒めることによって「私も警察官に褒められたい」と思い、ヘルメットを被る小学生が増えるのではないだろうか。

(交通課長)

視認性の悪い交通標識の場所については、後ほど教示していただきたい。

(委員)

私が住んでいる地域には信号機が1か所しかないが、信号機が枝で見えない時がある。道路を管理する県が、年に1回しか草刈り等を行わないことが原因ではないか。そのため地域の方が代わりに草刈りを行うこともある。道路管理を行う県や市は、しっかりと維持管理を行っていただきたい。こちらが申し出に行くと「お金がないから対応できない。」と断れることが多々ある。

市内に信号機は多くあるが、押しボタン式信号機であり、必要がないと感じる場所がある。

市内の小中学生は、自転車乗車時のヘルメットの着用が義務化されているように思う。たまに休日にヘルメットを被っていない学生を見かけることもあるが、ヘルメットの着用に関しては、随分ルールを守っていると感じている。

市内の公立高校の生徒はヘルメットを着用しているが、私立高校はまだ義務化とまでにはなっていないように感じる。自分の身は自分で守るということを教えるためにも各学校に赴き、交通ルールを遵守するよう厳しく言うのではなく、願いをしたらどうだろうか。

自動車の運転手には交通ルールを守らないと罰則規定があるが、歩行者については、交通ルールを分かっていない方がほとんどだと思う。特に高齢者については顕著である。そのため、高齢者への講習会を行えばどうだろうか。回数も年1回ではなく、月1回の頻度で行うとより効果的だと思う。

(委員)

私が住んでいる場所は、地区内の市道で一番交通量が多い。その市道には見通しの悪い四差路交差点があり、大変事故が多い。その交差点には、南北に一時停止標識があり、路上にも「止まれ」と記してある。またカーブミラーは4か所に設置されているも関わらず事故が多い。事故原因は、カーブミラーに十分車両が映っていないことだと思う。一時停止をした車両が徐行で交差点に進入し、規制のない方向から進入した車両が減速して安全に通過をすれば良いのだが、減速せずそのまま交差点に進入するため事故が発生する。地元の住民は見通しの悪い交差点と分かっているのに、減速しているが、観光客等の運転手は減速せずに通行する。一時停止やカーブミラーがあっても運転手の意識が高まらない限り交通事故は防げないと思う。この地区は特殊であるということを運転手に分かってもらえるように警察からも市に働きかけをお願いしたい。

自転車の交通ルールに関しては、平成22年頃に松陰神社近くの交差点で、横断歩道を自転車で横断した小学生が大型車両に巻き込まれて亡くなる交通死亡事故が発生している。この事故以降、萩市教育委員会は、小学生が自転車で横断歩道を横断する際に、自転車を降り左右を確認した上で自転車を押して渡るように指導をしている。しかし、この指導も年々マンネリ化しており、最近では自転車を押して横断歩道を渡る小学生はほとんどいなくなった。その辺りの意識を高めていけば交通事故も防げるのではないかと思っている。

(委員)

私が住んでいる地区には信号機はないが、萩市内には停止線が薄くなっている場所があるので、そこは改善されるように要望する。

高齢者は交通ルールの変更を把握していないことが多い。私は、月に1度、地域のサロンに参加し高齢者に交通ルールを含め、様々な話をしているが、その時に警察官が来て分かりやすく話をしてくれるとありがたい。

自転車の交通ルールに関して、私が住んでいる地区では大人も子供もヘルメット

を被って乗車している。子供がヘルメットを被って自転車に乗車していると「格好いいね。」と言ってあげるととても喜んでくれる。

ところで、以前別の地区で登坂車線を走行中に追い越し車線を逆走する車両と2回遭遇した。友人も同様の車両と遭遇したと言っていたが、ラインが新たに引かれたことで逆走する車両がいなくなった。ラインを引き直すことが功を奏している事例と言える。

(委員)

私が住んでいる地域に点滅信号があったが、交通量調査等をされ、点滅信号が撤去された。撤去された時は違和感があったが、現在では何事もなかったように生活をしている。

自転車の交通ルールについて、ヘルメット未着用で自転車に乗車している大人に対し、ヘルメットを被らない理由を聞いたところ、「警察に止められないから被る必要はない」と答えたようだ。

今のヘルメットは、帽子のような形をしたおしゃれなヘルメットもあるが、おしゃれなヘルメットでも効力は変わらないのだろうか。

ところで江崎交番の移転に関して、住民も「現在の場所は危ない」と言っている。住民に対する移転の説明はいつ頃になるのか。

(署長)

予算措置等、現在検討中であり、決定すれば住民説明等を実施する。

萩市とも協議を進めており、決定事項は市報にも掲載してもらい、周知させていただく。

(委員)

先日、交番勤務員と一緒に地区内を巡回したが、高齢者宅を訪問するととても喜ばれる。反射材を交付すると「これを着用してシニアカーを運転しても良いか。」と聞かれたがいかがなものか。

(署長)

着用して運転しても結構である。

(委員)

私が住んでいる地域では、自転車が右側通行をしている。どうかパトカーで巡回をしていただき、交通ルールを守らない自転車の運転手に「来年度からは青切符が導入される」と注意をしていただけないだろうか。集会を開催し高齢者に交通ルールが変更される話をして、交通ルールを守らない人は集会に参加していない。できれば、各学校にこまめに出向き、横断歩道は必ず自転車を押して横断するということを徹底させて欲しい。

8 警察本部警務部長所感

大変忙しい中、参加していただき感謝申し上げます。

協議会では、生活の中での実感を具体的に挙げ、その改善方法やご指摘をいただいた。すぐに警察署で対応できるものもあるが、足りないところは警察本部で検討

して進めていきたいと考えている。

このようなご意見をいただいたことで警察署協議会の存在意義が十全に発揮されたと考えており、これも皆様のおかげと感謝している。

本協議会の内容を警察本部内でも共有し、しっかりと皆様の安全安心な生活が維持できるよう進めさせていただきたい。

これからも萩警察署に対し、温かいご指導をお願い申し上げます。

9 次回の開催予定

令和7年度第3回萩警察署協議会は、概ね令和8年2月上旬の開催予定とした。